

第79回国民スポーツ大会(第80回冬季大会)

中国ブロック大会

スポーツクライミング競技



主 催	公益財団法人日本スポーツ協会 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県 鳥取県教育委員会、島根県教育委員会、岡山県教育委員会 広島県教育委員会、山口県教育委員会 (公財)鳥取県スポーツ協会、(公財)島根県スポーツ協会 (公財)岡山県スポーツ協会、(公財)広島県スポーツ協会 (公財)山口県スポーツ協会
主 管	第79回国民スポーツ大会(第80回冬季大会)中国ブロック大会鳥取県実行委員会 開催県競技団体
共 催	中国地区開催競技団体、中国高等学校体育連盟、中国中学校体育連盟 開催地市町、開催地市町教育委員会、開催地都市町体育・スポーツ協会
後 援	スポーツ庁

この事業は、競輪の補助金を受けて実施します。

競輪の補助事業





感動のそばに、いつも。

第79回国民スポーツ大会（第80回冬季大会）中国ブロック大会 日程及び会場一覧

季別	No.	競技名		開催時期					開催市町村	会場名
				8/21(木)	8/22(金)	8/23(土)	8/24(日)	8/25(月)		
本大会	1	水泳	水球	8月8日(金)△・9日(土)○・10日(日)○					米子市	鳥取県立米子工業高等学校 プール
			アーティスティックスイミング	7月19日(土)△○・20日(日)○					島根県松江市	島根県立水泳プール
	2	サッカー	成年男子	8月1日(金)△ ※オンライン 8月9日(土)○・10日(日)○・11日(月)○					米子市	どらドラパーク 米子陸上競技場・球技場
			少年男子						鳥取市	ヤマタスポーツパーク 陸上競技場・球技場
			少年女子						鳥取市	Axisパードスタジアム・若葉台スポーツセンター
	3	テニス		8月1日(金)△・2日(土)○・3日(日)○					鳥取市	ヤマタスポーツパーク テニスコート
	4	ローイング		7月12日(土)△・13日(日)○					鳥取市	湖山池ポートコース
	5	ホッケー		8月14日(木)△・15日(金)○・16日(土)○・17日(日)○					八頭町	鳥取県立八頭高等学校ホッケー場
	6	ボクシング		△	○	○	○		境港市	境港市民交流センター みなとテラス
	7	バレーボール	6人制	8月16日(土)△○・17日(日)○					鳥取市	ヤマタスポーツパーク 鳥取県民体育館
			ビーチバレーボール	7月12日(土)△○・13日(日)○					境港市	境港市新屋町海岸ビーチバレーボールコート
	8	体操	競技	7月12日(土)△・13日(日)○					米子市	鳥取県立米子産業体育館
			新体操(少年男子)	7月11日(金)△○・12日(土)○					米子市	鳥取県立米子産業体育館
			新体操(少年女子)						鳥取市	ヤマタスポーツパーク 鳥取県民体育館
			トランポリン	7月12日(土)△・13日(日)○					米子市	鳥取県立米子産業体育館
	9	バスケットボール			△	○	○		鳥取市	ヤマタスポーツパーク 鳥取県民体育館
	10	ウエイトリフティング			△	○	○		岩美町	鳥取県立岩美高等学校 ウエイトリフティング場
	11	ハンドボール			△	○	○		山口県下関市	J:COMアリーナ下関(下関市総合体育館)
	12	ソフトテニス				△○	○	□	米子市	どらドラパーク 米子庭球場
	13	卓球		8月10日(日)△○・11日(月)○					米子市	鳥取県立米子産業体育館
	14	軟式野球			△	○	○	□	米子市	どらドラパーク 米子市民球場
	15	馬術		7月4日(金)△・5日(土)○・6日(日)○					岡山県真庭市	藤山ホースパーク
	16	フェンシング		8月15日(金)△・16日(土)○・17日(日)○					鳥取市	鳥取市民体育館(エネトピアアリーナ)
	17	柔道				△	○		米子市	鳥取県立武道館 主道場
	18	ソフトボール	成年男子	△	○	○	□		米子市	淀江運動公園 淀江球場
			少年男子							淀江スポーツ広場
			成年女子・少年女子							どらドラパーク 米子スポーツ広場
	19	バドミントン			△	○	○		米子市	鳥取県立米子産業体育館
	20	弓道			△	○	○		米子市	鳥取県立武道館 弓道場
	21	ライフル射撃				△○	○		南部町	鳥取県営ライフル射撃場
	22	剣道		8月16日(土)△・17日(日)○					米子市	鳥取県立武道館 主道場
	23	ラグビーフットボール	成年男子・女子	8月30日(土)△○・31日(日)○					鳥取市	ヤマタスポーツパーク 陸上競技場
			少年男子	8月28日(木)△○・30日(土)○・31日(日)○					鳥取市	ヤマタスポーツパーク 球技場
	24	スポーツクライミング		8月1日(金)△・2日(土)○・3日(日)○					倉吉市	鳥取県立倉吉体育文化会館
	25	カヌー	スローモワイルドウォーター	5月24日(土)△・25日(日)○					日野町	日野川カヌー特設コース
			スプリント	7月19日(土)△・20日(日)○					湯梨浜町	東郷湖カヌーコース
	26	アーチェリー				△	○		鳥取市	ヤマタスポーツパーク 多目的広場
	27	空手道		7月12日(土)△・13日(日)○					米子市	鳥取県立武道館 主道場
	28	銃剣道		8月17日(日)△○					米子市	鳥取県立武道館 小道場
	29	なぎなた		7月19日(土)△・20日(日)○					米子市	鳥取県立武道館 主道場
	30	ボウリング		7月19日(土)△○・20日(日)○・21日(月)○					鳥取市	鳥取スターボウル
	31	ゴルフ		6月18日(水)△・19日(木)○・20日(金)○					伯耆町	大山アークカントリークラブ
冬季	32	アイスホッケー		12月13日(土)△○・14日(日)○					島根県出雲市	宍道湖公園湖遊館

△監督会議 ○試合実施日 □予備日

大 会 役 員

令和7年6月27日現在

大会名誉会長 平井 伸治

大 会 会 長 林 昭男

大会副会長 足羽 英樹 堀田 收 松本 典子 小倉 健一 田中 将
丸山 達也 越宗 孝昌 荻田 知英 村岡 嗣政

大会名誉顧問 遠藤 利明

顧 問 深澤 義彦 伊木 隆司 広田 一恭 伊達憲太郎 長戸 清
吉田 英人 宮脇 正道 陶山 清孝 小澤 敦彦 埴田 淳一
小椋 勝美 高木 敏行 寺本 努 後藤 弥 内田 博長
野津 建二 中村 正芳 篠田 智志 繁吉 健志 美濃 亮
國重 良樹 岡田 浩二 木安亜紀江 宍戸 靖雄 池田 洋二
西村 弥子 杉村 正男 福田 俊史 斉木 正一 岸本 進一
島谷 龍司 牧 尚志 中嶋 政幸 浜田 一哉 田中 一雄
依藤 典篤 本田 雅一 舞立 昇治 東田 義博 前田 秀司
出西 弘道 福浜 隆宏 加藤 速美 戸田 至 佐伯 友茂
川部 洋 小坂 秀己 藤井 一博 杉原弘一郎 岡村 行雄
渡辺 穰爾 八幡久美子 坂口 吉平 中西 照典

参 与 河井登志夫 浦林 実 中田 寛 山本 淳一 大西 泰博
薮田 邦彦 山田 直樹 二宮 伸司 箕浦 昭彦 安達 才智

大会委員長 小西慎太郎

大会副委員長 前田 康博 岡 秀一 山本 雅丈 門木 淳子 竹内 俊勝
松井 守 小寺 洋 河村 祐一 松本 守正 松本 綾子
田口 新也 河口 英史

大 会 委 員 清水 凡子 田中 将 生田 文子 後藤 弥 浜田 哲弘
近藤 一幸 奥田 洋司 倉迫 昭宏 山本 秀樹 宍戸 靖雄
池田 洋二 西村 弥子 竹田新太郎 坂田 陽彦 村口 正和
浜本 齐 濱部 武生 近藤 剛夫 升田 友也 森本 康夫
山口 宏志 依藤 典篤 荻尾 芳之 山林真由美 東田 義博
足立富士夫 徳田 博明 源 憲治 岡川 仁司 松本 雅文
山根 國弘 岩野 竜二 小坂 秀己 金田 裕之 山根 俊一
尾崎 健二 瀬尾 憲次 宮田 挙子 松岡 義信 松本 邦男
藤野 純一

第79回国民スポーツ大会中国ブロック大会

スポーツクライミング競技

期 日 令和7年8月1日（金）～3日（日）
 会 場 鳥取県立倉吉体育文化会館
 主 管 鳥取県山岳・スポーツクライミング協会

競技会役員

会 長	小坂 秀己			
副 会 長	世良 清美	山本 譲	山田 雅昭	古林 喜明
参 与	渡辺 公二	大垣 隆	豊田 和司	山崎 裕晶
	鹿野 慶行			

競技役員

競技委員長	山田 佳範			
競技副委員長	富澤 隆一郎			
テクニカル・デリゲート	片山 健太			
審 判 長	野村 康寿			
主任審判員	本多 隆志			
審 判 員	石丸 秀樹	山根 晋哉	瀬尾 文孝	岩本 真弓
	小坂 秀己			
スコアラー	福光 章紀	高見 周作	秦 将巳	高見 麻美
判定用ビデオ	宮本 悠嗣	足立 知子		
タ イ マ ー	福光 蒼里			
セ ッ タ ー	中島 雅志	徳永 一也	八幡 夏子	
スポーツマネージャー	富澤 隆一郎			
選 手 管 理	高田 理差	高眞 真由美	福光 由香里	山根 真美
	影山 弥生	山脇 将弥	高見 麻美	遠藤 咲恵美
	宮本 美弥子			
ビレイヤー	高見 周作	秦 将巳	細田 博	山脇 彩
クリーニング	高力 秀幸	福光 蒼里	宮本 和奏	山脇 大和
救 護	藤岡 良仁			
サ-ビスマネージャー（総務部長）	渡辺 公二			
総務副部長	前田 仁史			
会 場 管 理	高田 敦充	大櫃 静雄	深田 米治	川島 万幸
	岡本 夏実	山脇 潤子	藤田 愛子	
アナウンス	三嶋 綾			
音 響	前田 仁史			

競技日程

8月1日(金)

受付	19:00 ~ 20:00	倉吉体育文化会館 中研修室
監督会議	20:00 ~ 20:30	同上 中研修室
審判・競技役員会議	20:30 ~ 21:30	同上 中研修室

8月2日(土)

リード競技	10:30 ~ 17:00	同上 リード壁
-------	---------------	---------

8月3日(日)

ボルダー競技	10:10 ~ 15:15	同上 ボルダリングルーム
表彰式・閉会式	15:30 ~ 16:00	同上 大研修室

表彰式・閉会式 次 第

- 1 開 式 通 告
- 2 成 績 発 表
- 3 表 彰 式
- 4 講 評
- 5 あ い さ つ
- 6 閉 式 通 告

第 79 回国民スポーツ大会中国ブロック大会競技実施要項

1 期 日 令和 7 年 8 月 1 日（金）～ 3 日（日）

2 会 場 会 場 地：鳥取県倉吉市
集 結 地：鳥取県立倉吉体育文化会館
（〒682 - 0023 鳥取県倉吉市山根529-2）
競技会場：鳥取県立倉吉体育文化会館
（〒682 - 0023 鳥取県倉吉市山根529-2）
宿 泊 地：鳥取県内 指定宿泊施設

3 日 程 8 月 1 日（金）

受付 19:00～20:00 倉吉体育文化会館 中研修室
監督会議 20:00～20:30 同上 中研修室
審判・競技役員会議 20:30～21:30 同上 中研修室

8 月 2 日（土）

リード競技 10:30～17:00 同上 リード壁

8 月 3 日（日）

ボルダー競技 10:10～15:15 同上 ボルダリングルーム
表彰式・閉会式 15:30～16:00 同上 大研修室

4 種別（種目）及び参加人数

種 別	種 目	本大会出場枠	監督	選手	参加県	小計	計
少年男子	リード ボルダー	2	1	2	5	15	45
成年女子		2	1	2	5	15	
成年男子		2	1	2	5	15	

5 競技方法

競技の方法は、国民スポーツ大会スポーツクライミング競技全種目についての共通規定及び「公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会スポーツクライミング競技規則」（以下「スポーツクライミング競技規則」という。）による。ただし、スポーツクライミング競技規則第 2 章、第 7 章、第 8 章及び第 9 章は適用しないものとする。

6 参加資格

第 79 回国民スポーツ大会中国ブロック大会実施要項第 4 項に定めるもののほか、次による。

- (1) 国民スポーツ大会スポーツクライミング競技開催基準要項及び国民スポーツ大会スポーツクライミング競技開催基準要項細則に定めるところによるほか、（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会に選手登録をした者であること。
- (2) 少年種別に参加できる選手は、2010 年 4 月 2 日から 2011 年 4 月 1 日までに生まれた中学 3 年生を含む。
- (3) 選手と監督の兼任は認めない。
- (4) 監督は公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認スポーツ

ククラミングコーチ1、公認スポーツクライミングコーチ2、公認スポーツクライミングコーチ3、公認スポーツクライミングコーチ4のいずれかの資格を有していなければならない。

7 審判員

(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会公認スポーツクライミング審判員で中国地区各山岳(・スポーツクライミング)連盟(協会)会長が推薦する者。

各県1名選出。なお、開催県は2名とする。

8 成績決定方法

『国民スポーツ大会スポーツクライミング競技国スポブロック大会における本大会出場チーム決定方法に関する規定』及び『別紙本大会出場チーム選出方法について(解説)』に定めるところによる。

9 表彰

各種別・各種目共3位まで表彰状を授与する。

10 参加申込方法

- (1) 国民スポーツ大会スポーツクライミング競技開催基準要項第14項に準ずる。
- (2) 参加申込後の選手・監督の変更は所定の様式で、8月1日(金)監督会議開始前までに届け出ること。
- (3) 選手・監督に変更の必要が生じた場合、監督会議開催前までに所定の様式によって届出があった者に限り交替することができる。ただし、「診断書の提出」が必要で、交替者は参加資格に該当する者でなければならない。

11 その他

- (1) 参加選手・監督は受付時に配布するIDカードを大会期間中は常に携帯しなければならない。
- (2) 参加選手は競技中、背中にA5サイズの県番号・個人番号及び種別(白地に黒字)を表示したゼッケンを着けること。(8月1日監督会議受付時に配布予定)

31-1 少年男子	背中(A5サイズ) 31(鳥取)、32(島根)、33(岡山)、34(広島)、35(山口)
--------------	---

- (3) 選手監督の宿泊場所は鳥取県内指定宿舎とする。
- (4) 各県とも岳連(協会)旗を1流持参し受付時に渡すこと。
- (5) 受付は、倉吉体育文化会館に設ける。
- (6) 大会参加料は1チーム10,000円とする。
7月30日までに、別途指定された口座に振り込むこと。
- (7) 監督会議には、3種別の監督のうち1名が代表して出席することを認める。
- (8) 大会実施本部は、下記のとおりとする。

鳥取県立倉吉体育文化会館 〒682-0023 鳥取県倉吉市山根529-2

問合せ先 鳥取県山岳・スポーツクライミング協会 SC委員長 山田 佳範

携帯電話 090-7770-7118

Eメール yamal9zo@inabapyonpyon.net

第79回国民スポーツ大会中国ブロック大会
スポーツクライミング競技実施要領
《全種目共通》

原則として、競技の方法は、国民スポーツ大会スポーツクライミング競技全種目についての共通規定及び「公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会スポーツクライミング競技規則」（以下「スポーツクライミング競技規則」という。）によって実施する。ただし、同規則によらない事項及び第79回国民スポーツ大会中国ブロック大会においてのみ実施する事項については、監督会議の際に出席者に審判長より説明を行う。

1 全種目共通事項

(1) 競技場、競技エリアへの立ち入り

＜大会前の立ち入り＞

競技場、競技エリアへの選手、監督及びその関係者の立ち入りができる日時は次のとおりとする。

種目	立ち入り制限区域等	日時
リード競技	倉吉体育文化会館 クライミング施設	7月26日（土）22時まで
ボルダー競技		

＜大会期間中の立ち入り＞

大会中の選手、監督及びその関係者が立ち入りできる範囲については、大会当日指示する。なお、8月1日（金）はクライミング施設を含む指定エリアへの立ち入りは禁止とする。

(2) 競技に関する選手、監督の立ち入りは運営予定時間を参照のこと。

(3) 指定時間は、次のとおりとする。

オブザベーション（6分）

種目	種別	最大競技時間
リード競技	少年男子	6分
	成年女子	6分
	成年男子	6分

オブザベーション（8分）

種目	種別	最大競技時間 5分/準備時間 15秒			
ボルダー競技		1・2課題	休憩	3・4課題	最終待機
	少年男子	5分	5分	5分	5分
	成年女子	5分	5分	5分	5分
	成年男子	5分	5分	5分	5分

(4) スタート順の抽選

リード競技のスタート順、及びボルダー競技のスタート順については3月8日（土）の中国山岳（・スポーツクライミング）連盟（協会）連絡協議会にて抽選を行い決定する。

(5) スタート

ア. リード競技のスタートは種別ごとに成年女子、少年男子、成年男子の順とする。

チームの二人は続けて競技を行う。チーム内の競技順は登録選手の枝番号順とし、

競技順の変更は一切認めない。（例：〇〇-1の選手、〇〇-2の選手の順）

イ. ボルダー競技のスタートは種別ごとに少年男子、成年女子、成年男子の順とする。

チームの二人はそれぞれ1基（2課題）を指定時間内にトライ開始をする。

なお、アテンプットの最終準備を行うことが認められる15秒の準備時間を設ける。

（7） 競技の棄権

ア. 選手が体調その他の理由で競技を棄権するときは、監督は主任審判員に対し、文書をもってその理由を届け出なければならない。（棄権届・受付時配布）

イ. 点呼・選手確認に応じないときは、主任審判員は当該チームが棄権したものとみなし、当該チームの棄権を宣言することができる。

（8） 失格、退場及び警告

『スポーツクライミング競技規則第5章 罰則』に定めるところによる。

（9） 抗議

『スポーツクライミング競技規則第6章 抗議』に定めるところによる。（抗議届・受付時配布）

（10） 審査の基準

『国スポブロック大会における本大会出場チーム決定方法に関する規定』及び『同規定別紙本大会出場チーム選出方法について（解説）』に定めるところによる。

2 成績等の掲示及び発表

成績発表は、競技会場では行わない。公式掲示板はインターネット上に設置する。

3 事前練習について

競技場、競技エリアへの立ち入り禁止の7月26日（土）22時まで事前練習は可能

4 アクセス・駐車場について

競技会場の駐車場を利用すること。

5 施設利用について

大会期間中は選手・監督の喫煙場所は設置しない。ゴミは各チームで持ち帰ること。

6 ブロック大会参加費

1チーム（各種別）10,000円を7月30日までに、下記の口座に振り込みをすること。なお、振込に係る費用は負担していただくこととする。

振込先 山陰合同銀行 浜村支店（063） 普通預金：3629264 名義：鳥取県山岳協会 競技委員会 会計 山田佳範

※県単位で3種別まとめて30,000円のお振込みをお願い致します。

※県スポーツ協会への参加費、宿泊費は別途、必要となります。

7 その他

質問事項については、別添様式により7月10日必着で下記宛てに送付すること。

質問事項の処理については、重要な事項は事前に各県に連絡するものとする。

《リード競技》

1 競技について

競技は、オンサイト・リード方式とし、決勝のみとする。

2 運営予定時刻（運営予定時刻は進行状況により変更することがある。）

項目		時刻	場所	備考
開会式は行わない				
成年女子	アイソレーションオープン	9 : 0 0	アイソレーション・ゾーン	クローズ後に 選手点呼・確認
	アイソレーションクローズ	9 : 2 0		
	オブザベーション	1 0 : 3 0	リード壁	選手は指示により、アイソレーション・ゾーンあるいはコールゾーンに戻る
	競技開始	1 0 : 4 5		
	競技終了	1 1 : 3 5		
ルートセット				
少年男子	アイソレーションオープン	1 1 : 2 0	アイソレーション・ゾーン	クローズ後に 選手点呼・確認
	アイソレーションクローズ	1 1 : 4 0		
	オブザベーション	1 2 : 5 0	リード壁	選手は指示により、アイソレーション・ゾーンあるいはコールゾーンに戻る
	競技開始	1 3 : 0 5		
	競技終了	1 3 : 5 5		
ルートセット無し				
成年男子	アイソレーションオープン	1 1 : 2 0	アイソレーション・ゾーン	クローズ後に 選手点呼・確認
	アイソレーションクローズ	1 1 : 4 0		
	オブザベーション	1 2 : 5 0	リード壁	選手は指示により、アイソレーション・ゾーンあるいはコールゾーンに戻る
	競技開始	1 3 : 5 5		
	競技終了	1 4 : 4 5		

※一般観客等の開場時間は成年女子アイソレーションクローズの9:20とする。

※少年男子、成年男子選手は成年女子の観戦ができるが、アイソクローズを厳守すること

3 競技の方法

(1) 競技

各チームの競技者2名は、同一ルートをそれぞれ一人ずつ続けて競技を行う。チーム内の競技順は登録選手の枝番号順とし、競技順の変更は一切認めない。（例：〇〇・1の選手、〇〇・2の選手の順）

(2) 隔離

ア. アイソレーションのクローズ時刻以後は、選手及び監督、トレーナーをアイソレーション・ゾーンに隔離する。

イ. 選手及び監督、トレーナーはアイソレーション・ゾーンから退出した後は、再入室をすることはできない。

ウ. 退出した監督は、競技役員の指示に従い、指定エリアに移動する。

(3) オブザベーション

ア. オブザベーション（ルート公開）の時間は6分間とする。

イ. オブザベーションは各種別ごとに各チームの選手・監督3名全員で一斉に行う。

（監督はオブザベーションに無理に立ち会わなくても良い）

ウ. オブザベーション時のメモ用紙は指定の用紙をアイソレーションクローズ後に配布する。双眼鏡を使用し、メモを取ることができる。

エ. 選手及び監督は、ルートの開始地点付近のホールドに両足を地面から離すことがない状態であれば触れることができる。

(4) 移動

オブザベーションを終えた監督・選手は、審判員の指示に従い、アイソレーション・ゾーンまたはコール・ゾーンに戻るものとする。

(5) 競技の最大競技時間は6分間とする。

(6) 各選手は、コールゾーンを離れた時からの最終準備を行うことが認められる 40 秒の準備時間が認められる。選手は準備時間の終了後速やかにアテンプトを開始する。

(7) 選手の身体の手が地面から離れたときをもってアテンプトの開始とし、競技時間の計測を開始する。

(8) アイソレーションゾーンへの入室以降、指示を行った時点から一切の電子通信機器類の持ち込み、使用を禁止する。

4 テクニカル・インシデント

(1) 『スポーツクライミング競技規則 第10章 チーム・リード』
第150条～152条に定めるところによる。

5 審査基準

(1) 『スポーツクライミング競技規則 第10章 チーム・リード』第143条～第147条に定めるところとする。その他、『国スポブロック大会における本大会出場チーム決定方法に関する規定』 第2章ブロック大会第4条チーム・リードに定めるところによる。

《ボルダー競技》

1 競技について

競技は、選手2名が2基のボルダー・ウォールを使用し、各ウォールにセットされた2つのボルダーをチーム単位で同時に登って実施する。

各選手は全4ボルダーを登り、決勝のみとする。

2 運営予定時刻（運営予定時刻は進行状況により変更することがある。）

項目		時刻	場所	備考
少年男子	アイソレーションオープン	8 : 3 0	アイソレーションゾーン	選手点呼・確認
	アイソレーションクローズ	9 : 1 0		
	オブザベーション	1 0 : 1 0	ボルダリングルーム	選手、監督全員 コールゾーンで準備
	競技開始 Aチーム	1 0 : 2 5		
	Bチーム	: 3 0		
	Cチーム	: 3 5		
	Dチーム	: 4 0		
	Eチーム	: 4 6		
	競技終了	1 1 : 0 6		
ルートセット				
成年女子	アイソレーションオープン	1 0 : 2 0	アイソレーションゾーン	選手点呼・確認
	アイソレーションクローズ	1 1 : 0 0		
	オブザベーション	1 2 : 0 0	ボルダリングルーム	選手、監督全員 コールゾーンで準備
	競技開始 Aチーム	1 2 : 1 5		
	Bチーム	: 2 0		
	Cチーム	: 2 5		
	Dチーム	: 3 0		
	Eチーム	: 3 6		
	競技終了	1 2 : 5 6		
ルートセット				
成年男子	アイソレーションオープン	1 2 : 1 0	アイソレーションゾーン	選手点呼・確認
	アイソレーションクローズ	1 2 : 5 0		
	オブザベーション	1 3 : 5 0	ボルダリングルーム	選手、監督全員 コールゾーンで準備
	競技開始 Aチーム	1 4 : 0 5		
	Bチーム	1 4 : 1 0		
	Cチーム	1 4 : 1 5		
	Dチーム	1 4 : 2 0		
	Eチーム	1 4 : 2 6		
	競技終了	1 4 : 4 6		

※一般観客等の開場時間は少年男子アイソレーションクローズの9:10とする。

※アテンプト・ピリオドは、選手がFOPに入る前にアテンプトの最終準備を行うことが認められる15秒の準備時間と、5分の最大競技時間で構成される

※成年女子、成年男子も他種別の競技を観戦できる。ただしアイソ・クローズ厳守

3 競技の方法

(1) 競技は、選手2名のチーム単位で実施する。選手2名は、複数のボルダーを両名が共に登る。

(2) 隔離

ア. アイソレーションのクローズ時刻以後は、選手及び監督、トレーナーをアイソレーション・ゾーンに隔離する。

イ. 選手及び監督、トレーナーはアイソレーションから退出した後は、再入室をすることはできない。

ウ. 退出した監督は、競技役員の指示に従い、指定エリアに移動する。

(3) オブザベーション

ア. 各種別ごとに、競技前に監督・選手は一斉に全課題の集団オブザベーションを行い、時間は8分間（4分×2基）とする。

イ. 競技前の集団オブザベーションでは、全ての選手及び監督はアイソレーション状態で拘束される。選手及び監督はオブザベーションを指定されたオブザベーション・エリア内で行わねばならない。オブザベーション・エリアは主任審判員が決定する。オブザベーション・エリアがマット上を含む場合、選手及び監督はスターティング・ポジションとしてマーキングされたホールドにのみ、両足がマットから離れない状態で触れることができる。

ウ. 競技中のオブザベーションに、選手はスターティング・ポジションとしてマーキングされたホールドにのみ、両足がマットから離れていない状態で触れることができる。スターティング・ホールド以外のホールドに手または足で触れた場合は、そのボルダーのアテンプト1回としてカウントする。

(4) 移動

オブザベーションを終えた監督・選手は審判員の指示に従い、アイソレーション・ゾーンまたはトランジット・ゾーンに戻るものとする。

(5) 競技の進行

チームの決められた競技順に定められた数のボルダーで行う。1競技時間に最初の2つのボルダーのアテンプトを行う。競技時間終了後、選手は1競技時間と同じ休憩時間を取り、次にもう2つのボルダーのアテンプトを行い、すべてのチームがこれを繰り返す。

1競技の指定時間は1競技（2課題）5分間とし、休憩時間は5分間とし、選手がFOPに入る前にアテンプトの最終準備を行うことが認められる15秒の準備時間を設ける。

(6) 競技時間の開始と終了

競技時間及び休憩時間の開始並びに終了は、ブザーによる合図によって、競技中、休憩中、待機中の全選手に対して同時に通告しなければならない。

(7) 休憩時間

競技中の各チームの選手は、両選手が共に完登または放棄した時、及び競技時間終了時には速やかに休憩エリアに入らなければならない。このエリアからは次の課題を見る事はできない。

(9) 残り時間の告知

審判員は、それぞれの競技者に対し、指定時間1分前に残り競技時間を告知する。

選手は競技中、残り時間を聞く事ができる。

(10) 競技中

ア. チームのスタート順に従い、ブザーによるスタート合図によりチームの選手は2名ずつ同時にスタートする。同一チーム内のどちらの選手がどちらのボルダーをどの順番で登るかは自由であり、ボルダーの交替も制限はない。なお、一つのボルダーで同時に2名の選手がアテンプトを行うことはできない。

イ. 監督は競技時間中、指定された場所から選手に助言をしても良いが、指定されたエリアからは出ることはできない。（同チーム選手同士での助言は可）

ウ. 各ボルダーの競技が終了した時点で選手はジャッジペーパーを確認する。

4 テクニカル・インシデント

『スポーツクライミング競技規則 第11章 チーム・ボルダー』

第182条～184条に定めるところによる

5 審査基準

- (1) 『スポーツクライミング競技規則 第11章 チーム・ボルダー』第175条～第179条に定めるところとする。その他、『国スポブロック大会における本大会出場チーム決定方法に関する規定』 第2章ブロック大会第5条チーム・ボルダーに定めるところによる。

参加選手・監督名簿

	県番号	県 名	監督	選手－ 1	選手－ 2	L競技順	B競技順
少年男子	31	鳥取県	瀬戸 啓太	藤田 楓	遠藤 笙源	4	2
	32	島根県	阪井 学	福島 輝	戸田代 颯太	5	1
	33	岡山県	古矢 拓真	三宅 祐希	小野田 侑朔	3	3
	34	広島県	妹尾 涼子	梅田 一真	加藤 陽翔	2	5
	35	山口県	仲間 勇貴	上田 悠太	長尾 一樹	1	4
成年女子	31	鳥取県	西田 海斗	高田 こころ	多月 萌々菜	5	5
	32	島根県	野村 光	大谷 咲花	毛利 有希	4	4
	33	岡山県	勝野 宏美	塚野 萌美	田畑 由希子	2	1
	34	広島県	錦織 宏美	山下 真由	錦織 美里	1	2
	35	山口県	山縣 茜	大田 理娑	吉田 清華	3	3
成年男子	31	鳥取県	桑本 洋志	高田 知堯	河上 紘輝	2	4
	32	島根県	大垣 隆	阪井 佑治郎	阪井 貴登	3	5
	33	岡山県	河村 英治	小福田 透	本岡 優斗	4	1
	34	広島県	延近 昌彦	延近 陸空斗	末弘 竜都	5	2
	35	山口県	村谷 卓之	石津 元崇	村田 昊輝	1	3

成績表

種別	順位	ID	県名	チーム L順位Pt	チーム B順位Pt	チーム 順位Pt	ゼッケン No	個人 L順位Pt	個人 L成績	個人 B順位Pt	個人 B成績	個人 順位Pt
少年男子		31	鳥取県				31-1					
							31-2					
		32	島根県				32-1					
							32-2					
		33	岡山県				33-1					
							33-2					
		34	広島県				34-1					
							34-2					
		35	山口県				35-1					
							35-2					
成年女子		31	鳥取県				31-1					
							31-2					
		32	島根県				32-1					
							32-2					
		33	岡山県				33-1					
							33-2					
		34	広島県				34-1					
							34-2					
		35	山口県				35-1					
							35-2					
成年男子		31	鳥取県				31-1					
							31-2					
		32	島根県				32-1					
							32-2					
		33	岡山県				33-1					
							33-2					
		34	広島県				34-1					
							34-2					
		35	山口県				35-1					
							35-2					